

シナリオプランニング「ソーシャル」セッション 「2025年の超ICT社会における安心できる暮らしとは？」 第2回セッション開催報告

2014年11月13日、
シナリオプランニング「ソーシャル」セッションの第2回を開催いたしました。
今回のセッションには24名が集まり、4つの未来シナリオに暮らす人物を想像し、
その人物を主人公にした生活ストーリーを描きました。

<プログラムの内容>

シェア・セッション

今日何を考えていくのかを参加メンバー全員で共有

Session1 「シナリオを振り返る」

- 1-1.本日のゴール・進め方
- 1-2.4つのシナリオの振り返り
- 1-3.参加メンバーからひと言

クリエイティブ・セッション

グループワークを中心にアイデアを広げて、深める

Session2 「人物像(ペルソナ)を描く」

- 2-1.チームプレスト(ペルソナの特徴の創造と発見)
- 2-2.ペルソナ描写
- 2-3.人物ごとに共有

Session3 「未来の生活ストーリーを描く」

- 3-1.チームプレスト(ペルソナが遭遇するピンチの創造と発見)
- 3-2.生活ストーリー描写
- 3-3.全体共有



Session 1

「シナリオを振り返る」

Session 1-1 本日のゴール・進め方

よりミクロな視点から未来シナリオを描き出す

2025年の超ICT社会における安心できる暮らしはどうなっているのか、セッションに集まったみなさんと考えていく全3回のセッションの2回目です。

前回(第1回)は、マクロな視点から4つのシナリオを描写しました。今回は、その未来社会に生きている個人というミクロな視点から、シナリオを掘り下げます。具体的には、人物像を具体的に創造し、そのうえで、その人の生活を想定したストーリーを描き出します。

背景 狙い

ICTの浸透に伴い、新たな社会生活上のリスクや不安の増加が見込まれます。このような社会環境において、人々の安心は、どのような価値観に基づき、いかに担保されるのか？ 新たな社会課題を抽出するための認識を共有します。

問い

2025年の超ICT社会における安心できる暮らしとは？

ゴール

未来シナリオをつくり、その社会の課題・ニーズを発見します



【第1回セッション】

10/29(水)18~21時
“マクロな未来社会の描写”

【第2回セッション】

11/13(木)18~21時
“人物像、生活ストーリーの描写”

【第3回セッション】

11/20(木)18~21時
“課題・ニーズの抽出、サービスコンセプトづくり”

Session 1-2 4つのシナリオの振り返り

セッションで設定している未来社会の分岐軸とそこからの世界観、さらに前回のセッションで描かれた各シナリオのマクロなイメージを振り返りました。

<未来社会の分岐軸>

【軸1】経済のあり方

定常型経済
(質の充実優先)

生産と消費をバランスさせながら、活発な経済活動が行われる。経済性や効率性だけでは評価できないものに価値を見出していく。

成長型経済
(規模の拡大優先)

生産と消費の規模の拡大、成長スピードの向上を目指して活発な経済活動が行われる。経済性や効率性を至上価値とする。

【軸2】行動の志向性

リスクを恐れない

リスクを恐れず積極的にチャレンジする、大胆な思考・行動様式をとる人が多数派となる。

リスクを排除する

できるだけリスクを回避できるよう予防や事前対策に重きをおく、慎重な思考・行動様式をとる人が多数派となる。

<4つのシナリオの世界観>



シナリオ1 悠々安穩ライフ マクロイメージ

(定常型経済×リスクを排除する)

「古き良き」を尊重しつつ、
技術の利活用によって安心な生活基盤を確保

気の合う同士での
安心＆快適
コミュニティ形成

収入だけが
目的ではない
仕事

スムーズな資源の
流通・循環を
実現

アナログ・デジタルの
ベストミックス



【良いところ】

- 手間をかける楽しみ（ムダがムダじゃない）
- 3K（5K）の仕事を人間がやらなくて良い
- 趣味などで共通点があるコミュニティに所属
- 住民の行政参加
- 助け合い精神がある
- 長年お世話になっている農園がある
- 自由できまま
- つねに充足されていて満足感が高い
- 生活習慣病になりにくい暮らしを営める
- 親戚や幼馴染と長期的かつ親密な関係を築きやすい



【困ったところ】

- 退屈で刺激が足りない
- 内向的な人が多い
- 一度人間関係が悪化すると居づらい
- 世の中の情報に疎くなる

【新たに出現しているモノ・サービス・ひと】

- 安全性審査機関
- 物々交換
- アレルギー除去食
- Google Earthで安全な田畑検索、購入
- 自分が食べたいものを栽培
- 地域エネルギーの自給自足
- 町内会FaceBook
- 衝突を起こさない、相性の良い近隣住民のあっせんサービス
- 人の心を読むサービス
- 新しい「町」を1からつくる、シムシティ
- バーチャルファミリー、パートナー、友達
- 代行サービスの発達
- 物理的距離の省略による安全確保（自宅勤務、リアル立体TV会議）
- 自宅や自分の部屋を持ち運べるシステム（ベッドで出勤、キャンピングカー暮らし）
- 日々の健康予防、遠隔検診
- 体を浄化する施設
- 自分のリズムに合ったヘルスケア
- 世の中の変化に対する安全性脅威の情報提供
⇔外部情報のシャットダウンによる、「幸せ」維持
- 自分の特技で仕事が成立
- 組織にとらわれないワークスタイル

シナリオ2 信念追求ライフ マクロイメージ

(定常型経済×リスクを恐れない)

標準的・模範的なライフコースにとらわれず、
いつでも体当たりで自分で自分をプロデュースする

自分の意向、趣味が
追求できる

個人主義的な
生き方が
認められる

ライフイベントの
すべてが
自己表現機会

個々人の
多様性をつなぎ
価値化する
仕組みが充実



【良いところ】

- 1日1日を大事に生きている
- みんなイキイキしている
- 自由に行動できる点でストレスレス
- いろんな趣味がふえる
- イノベーションがふえる
- 「成功」の形が多様にある
- 何かを極める人が多くなる



【困ったところ】

- みんなが自分の趣味を追求して行動する
→ 周りはストレスを抱えている
→ 社会が破たんする
→ 実は成長していない
→ 美意識追求の果てにポジティブな自殺が
ふえる
→ マスを対象とするモノが売れなくなる
- 医者や健康食品がなくなる

【新たに出現しているモノ・サービス・ひと】

- 嗜好に応じてサービスは細分化
- DIYサポートサービス（自宅の建築等）
- 自分を表現し外に発信できるサービス（You Tube的なもの、クラウドファンディング）
- モノを長く使い続けるためのリペアサービス
- 食材へのこだわりに対応するサービス
- 人に迷惑をかけない程度の教育を受けられるサービス
- 大人向けの学びの場、一芸教育
- 公募社長
- 会社が家に来る
- 趣味を実現するための仮家族
- 危険絶景スポット情報
- ポジティブな思い込みを利用して治癒させる“ブラシーボ医療”
- シェア墓
- とんがっている人同士をつなげるサービス
- 自分の趣味を追求する人同士を調整するサービス、施設
- 自分の趣味を追求している（わがままな）人に対応するための取扱いサポートサービス

シナリオ3 High Risk High Return ライフ マクロイメージ

(成長型経済×リスクを恐れない)

失敗が許容される環境の中、次々に新しいことに挑み、
人々の挑戦の積み重ねが、さらなる経済発展と理想的な生活を実現

自分の理想を
実現するために
人・物・金 を投入

次々と新製品が
生み出される
競争社会

失敗しても
再チャレンジ可能

勝者と敗者の
入れ替わりが激しい



【良いところ】

- 何度でも失敗が許される
- 競争力が高くなり、新しいモノが生まれやすい
- 刺激的な暮らし
- 人生巻き返してできる



【困ったところ】

- 地道な仕事は誰もやらなくなるため、ルーチンワークこなす人材が貴重となる
- チャレンジの成功者と失敗者との貧富差が激しくなる
- 自分の想いを優先してしまうため、人の話を聞かない
- 自分の思っていたモノと違う時に、捨てる
- 対人関係に、利害関係が付き纏う

【新たに出現しているモノ・サービス・ひと】

- ギャンブラー教育
- 世界共通のマネー(ビットコイン)
- 再生医療が身近になる
- 時間の販売業、眠らなくてもいい身体(様々な代行サービス)
- 親紹介サービス(重親)
- オーダーメイドの子ども
- 惑星旅行
- 多少危険だがスリルのあるクルマ
- チャレンジ失敗者の凹みケアサービス(薬、etc)

シナリオ4 Care & Gain ライフ マクロイメージ

(定常型経済×リスクを恐れない)

多様なサービスを購入して基本的生活の安心を確保、
確実な安心のもと長期的視野で自分磨きやチャレンジを実践

高度な
テクノロジーを駆使した
徹底的なリスク排除

使いやすさと堅牢性
を両立する
セキュリティシステム

中長期的な
経済面の安定を
確保する仕組みが
浸透

安心感を
ベースとした
向上心の高まり



【良いところ】

- 機械が管理・労働してくれる
- 今日／明日の生活に不安は特にない
- 常に安心して日常活動ができる
- 「顔パス」が通用する
- 日常の不安がないため長期スパンで自分を高めることができる
- 安心をベースに時には冒険できる



【困ったところ】

- 常に機械に管理・監視されている
- にぎわいダイナミズムが低下し、分断社会となり、引きこもりも増加する
- 常に良い人でいないといけない焦燥や、仲間ハズレの恐怖もある
- コミュニティの敷居は高くなる
- 工場野菜しか食べない、中国産排除等過剰なまでに遊び、余裕、冒険のない生活になる

【新たに出現しているモノ・サービス・ひと】

- 安心食料供給サービス
- 高くても長持ちする商品
- 10年間の給料が担保される仕組み
- 完璧な健康管理を行う会員制ジム
- キーレスハウスコミュニティ
- 在宅勤務を含む移動を少なくするシステムやサービス
- ロボットによる教育サービス
- リスク対処の学習サービス
- 信用／人格判定システム
- 気が合わない人は近づけないシステム
- 同志を見つける、最適コミュニティを探すサービス
- 人相を良くするエステサービス
- 過度の安心管理から抜け出すサービス
(ex.内緒でファーストフード体験)



Session 1-3 参加メンバーから一言

参加メンバー全員が、気になっているシナリオ、掘り下げてみたいシナリオについて語りました。





Session2

「人物像(ペルソナ)を描く」

Session2-1 チームブレスト(ペルソナの特徴の創造と発見)

4つのシナリオのうち1つを選び、シナリオごとに、男性の人物像をつくるチーム、女性の人物像をつくるチームの2つに分かれました。用意された2014年時点のプロフィールを読み、2025年にその人物がどうなっているかブレストを行いました。その後、別のシナリオの人物1名についても、同様にブレストしてアイデアを追加しました。



2014年


畠山千尋 (24)


甲斐 隆 (55)

2025年



シナリオ1

 
畠山千尋(35) 甲斐 隆(66)

シナリオ2

 
畠山千尋(35) 甲斐 隆(66)

シナリオ3

 
畠山千尋(35) 甲斐 隆(66)

シナリオ4

 
畠山千尋(35) 甲斐 隆(66)



Session2-2 ペルソナ描写

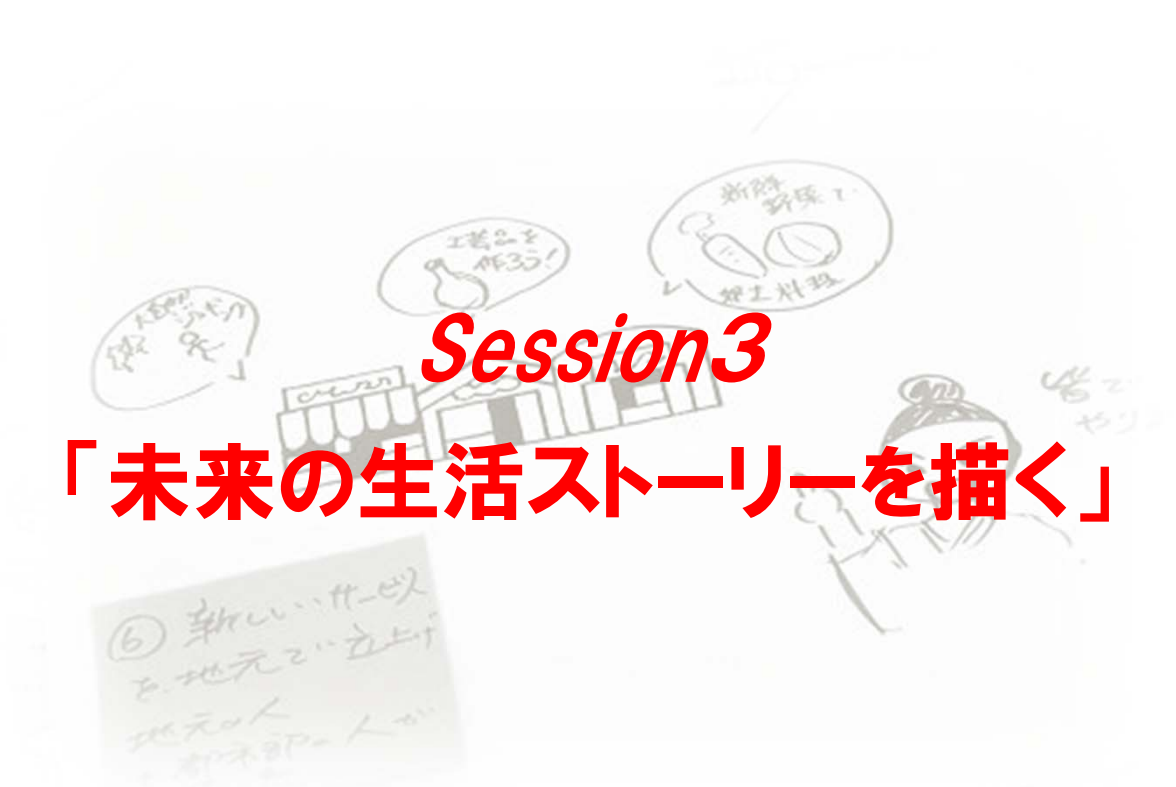
最初に手掛けた人物像について、他メンバーからも追加されたアイデアも参考に、詳細を描きました。



Session2-3 人物ごとに共有

女性ペルソナを担当した4チーム、男性ペルソナを担当した4チームがそれぞれ集まり、同じ人物のシナリオによる違いを共有しました。





The background features a faint, hand-drawn sketch of a future life story. It includes a central building with a sign that says '未来' (Future). To the left, a speech bubble contains the text '人々の生活' (People's lives). To the right, a speech bubble contains the text '新薬' (New medicine) and '新薬' (New medicine). Below the building, a speech bubble contains the text '工芸品' (Crafts) and '作品' (Works). At the bottom left, a sticky note contains the text '⑥ 新しいサービス' (⑥ New service) and 'を地元でい' (in the local area). At the bottom right, a speech bubble contains the text '地元の人' (Local people) and 'が' (who).

Session 3

「未来の生活ストーリーを描く」

Session3-1 チームブレスト(ペルソナが遭遇するピンチの創造と発見)

担当するペルソナについて、2025年の社会で遭遇しそうなピンチのアイデア出しを行いました。



Session3-2 生活ストーリー描写

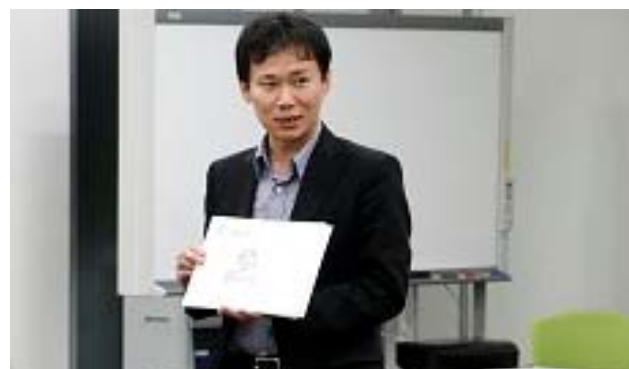
たくさんのピンチアイデアのなかから一つ選び、それを軸にした4コマのストーリーを作成しました。

さらに、個人レベルのピンチを超えた、周囲や社会を揺るがせるような危機や課題を想像し、4コマに続く3コマのストーリーを描きました。



Session3-3 全体共有

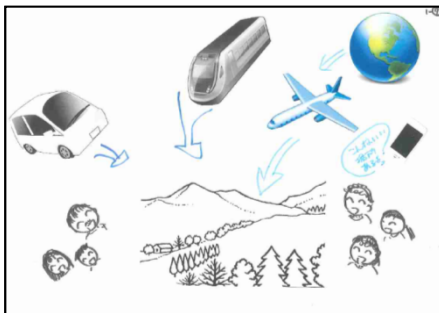
最後に、各チームが生活ストーリーを発表し、参加メンバー全員で人物像と生活ストーリーを共有しました。



シナリオ1 悠々安穩ライフ (定常型経済×リスクを排除する)

畠山千尋さん(35歳)

千尋さんは秋田の実家の旅館を継いで若女将となっています。お客さんにはきりたんぽでおもてなしをし、お兄さんの知り合いなど海外からの旅行客も増えています。ところが、バーチャルリアリティの普及により、「リアルに体験しなくてもバーチャルでいい」という風潮になってきます。だんだんお客さんが旅館やその地域に来なくなってしまい、交通手段も減り、地域は閑散とし、困ってしまいます。ではどうでしょうか。バーチャルリアリティでは、おいしい料理を食べるとか、温泉にゆっくり浸かるという体験ができません。そういう点をアピールしていくことにしました。ところが、リアルな価値により観光は復活しますが、地元の人がすでに都会に流れてしまっていて、受入れ体制ができていないという新たな問題が起きます。



そこで、千尋さんが中心となって新しいサービスを立ち上げ、地元や大都市からどんどん人が来るようになります。ICTとリアルを掛け合わせた「新ヘルスツーリズム」として、湯治湯などをアピールし、新幹線や飛行機、リニアモーターカーなどいろいろな交通手段で人が集まるようになり、再びにぎわいを取り戻しました。

畠山 千尋 (35歳、女性) 『 秋田発 世界中の幸せ! 』



職業・趣味・特技・住居
若女将(実家旅館)
 最近兄の人数で海外客増
 得意所 美味しい旅館
 住居: 実家 ← 地味 築40年
 日本酒作りや
 秋田でソノモ企画

平日の過ごし方 (朝・昼・晩)

- ・子どもたちとラコズ勉強
- ・旅館業 FMラジオ
- ・メニュー開発
- ・閉歇期はラコズの合宿FS

休日の過ごし方

- ・お客様をおもてなし
- ・地元産材で料理

食生活	地元の食材を使って火を通した郷土料理
最近ハマっていること	地元産材を使った新メニュー開発 グローバルメニューも
好きな情報・コンテンツ	ラコズFMラジオ 食材、料理メニュー情報
頼りにしているモノ・人	地元の友人

宝くじがあたったときの使い道	自宅の壁紙をタンスに替え → 新しい旅館のため
10年後(2035年)の夢	ラコズ世界大会開催 地元からふるさと感覚で楽しむ新食文化
日々楽しみにしていること	旅館の運営、地元の人との交流
心配ごと・困りごと	食材の安定供給、町の消費 SNS 上での評価、海外旅行客の増加

シナリオ1 悠々安穩ライフ（定常型経済×リスクを排除する）

甲斐 隆さん(66歳)

奥多摩に転居した甲斐さんは、エンジニア経験を活かした電気業を営みながら畑いじりも楽しみ、自然に囲まれた暮らしを満喫していました。ところが調子を崩し寝込みがちになってきました。

かかりつけ医に聞いてもわからず、大きな病院に行ったところガンを宣告され、家族や周囲の住民までが悲しむことになって

しまいました。しかし甲斐さんは、ICTなど先端の遠隔医療を駆使した放射線治療を受け、見事完治することができました。

甲斐さんにとってよかれと考えられた治療でしたが、実は周囲の人にも放射線が降り注いでいたのです。その影響で、今度は周りの人がガンになってしまいます。さらにこれを繰り返すと

どんどん周囲の人にガンが増えるということに。

この問題を解決するために、地域住民が一体となって、これを飲めばガンが治るとい「センズ（仙豆）」を開発。ガンになった人に飲ませて、全員がハッピーになって、コミュニティ存続の危機を免れることができました。



甲斐 隆 (66歳、男性)

座右の銘・モットー・口ぐせ

『Do it yourself』



近影

職業・趣味・特技・住居
 職業: 電気屋マン
 趣味: 家庭菜園・孫とあそぶ
 特技: DIY
 住居: 奥多摩・軒家

平日の過ごし方 (朝・昼・晩)	休日の過ごし方
早朝 火田について作業 日中 電気屋マン	火田いっしょ コミュニティ活動 DIY

食生活	家庭菜園で作った野菜や近所の人と交換したものを自分で調理する
最近ハマっていること	旅行(国内)
好きな情報コンテンツ	新聞、本
頼りにしているモノ・人	地域のコミュニティ

宝くじがあつたときの使い道	家族や子孫と旅行 地域のためになす設備、レジャー
10年後(2035年)の夢	元気で生きていくこと
日々楽しみにしていること	子どもや子孫とのコミュニケーション(テレビ電話) 地域のコミュニティ活動
心配ごと・困りごと	終活 病気になったときのかかりつけ医

シナリオ2 信念追求ライフ（定常型経済×リスクを恐れない）

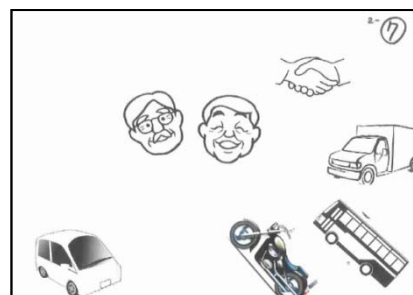
畠山千尋さん(35歳)

千尋さんは地元秋田を愛しており、実家の温泉旅館を経営しつつ、秋田を世界に発信することに人生を捧げています。ところが、地球温暖化や異常気象により、温泉が枯れてしま



います。そもそも温泉旅館ですから、温泉の枯渇は経営の根幹にかかわる大ピンチです。しかし、水は出ないけれど地熱は残っていますから、今度は地熱を使って砂風呂を始め、引き続き観光ビジネスを成功させることができました。

その後、やはり異常気象の影響で、今度は秋田の山が山火事にあい、木がすべてなくなってしまう。すると、秋田を救うべく、日本中、世界中から復興のために人が集まってきました。山の再生や秋田の街の再生に人が集まり、おかげでいろいろなビジネスが生まれることになりました。



畠山 千尋 (35歳、女性) 『世界の秋田!!』



近影

職業・趣味・特技・住居

主に外国人向けの
アドベンチャー型旅館
を経営(住居兼)
古民家

平日の過ごし方 (朝・昼・晩)

秋田 LOVE
24H 365D
スマイルパーティー

休日の過ごし方

企画を
考える

食生活	自家菜園で活用した新鮮な野菜・米・酒を自家製造
最近ハマっていること	VR ラクロス・ヨガ紙(紙)
好きな情報・コンテンツ	世界遺産・絶景
頼りにしているモノ・人	兄

宝くじがあつたときの使い道	秋田の自然・文化に投資
10年後(2035年)の夢	世界の秋田ブランド樹立
日々楽しみにしていること	
心配ごと・困りごと	出産のタイミング

シナリオ2 信念追求ライフ（定常型経済×リスクを恐れない）

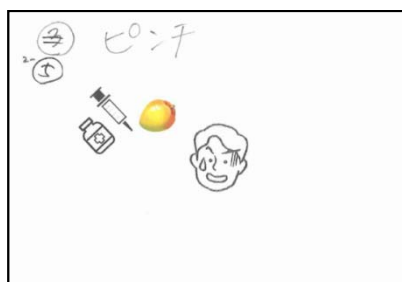
甲斐 隆さん(66歳)

甲斐さんは、定年後宮崎の実家のマンゴー農園を継ぎました。趣味のバイクを乗り回しながら、マンゴービジネスもうまく軌道に乗り、儲かっています。

ところが昨今、仕事が忙しすぎて奥さんと疎遠になり、孤独を感じています。また、一緒にマンゴーの仕事をしていた頼りのお兄さんも病気で倒れてしまいます。ピンチです。

そこへ奥さんが、やっと宮崎まで助けに帰ってきてくれ、一緒にマンゴーの仕事をやっていこうということになりました。

その後、天候異常やマンゴーに病気が発生するなど、甲斐さんは再び危機的状況に見舞われます。しかし、マンゴーの海外展開を考えていたときのビジネス上の人脈から、投資をして助



けてくれる人が現れます。甲斐さんは、その資金を元手に奥さんとともにフィリピンに移住し、マンゴーの経験を活かした南国フルーツのビジネスを手掛け、成功させます。

甲斐 隆 (66歳、男性)

座右の銘・セリフ・口癖

若くしく



職業・趣味・特技・住居

平日の過ごし方 (朝・昼・晩)	休日の過ごし方
地元のレストランへ マンゴーの売り込み	ツーリング
バイクで東京と宮崎を往復、大分県まで	
(東京)	(宮崎)

食生活	国の食料品 マンゴーを使った新レシピ作り
最近ハマっていること	バイク・ツーリング マンゴー 海外展開、リモートで生産監視
好きな情報・コンテンツ	バイク、農業
頼りにしているモノ・人	今までの人脈、仕事の経験

宝くじがあたったときの使い道	マンゴービジネス拡大
10年後 (2035年) の夢	バイクで世界一周
日々楽しみにしていること	バイクにのる楽しさ 料理、読書
心配ごと・困りごと	健康、親のこと 家族

畠山千尋さん(35歳)

ところがある日、原発事故によって電源を喪失し、電気が来



そこで千尋さんは、電気のいらないロボットでやっちゃえ、と「からくり人形旅館」に転換。秋田伝統の木工とのコラボなどにより産業として発展し、さらに新しい旅館の形態として人気を集めて連日お客さんで満員となりました。

塵石の路・モットー・口ぐせ



近影

職業·趣味·特技·住居

旅館経営、人生セツキ
趣
情
住 海外(南)へ海きい
紹 してない。

ケヤラヤラ

平日の過ごし方 (朝・昼・晩)

昼 ビーチでバーチャル
旅館を経営

晩 早く寝る
夜更け

休日の過ごし方

身体を使う。
エグゼシムスジョー-ツ。
etc...

食生活	旬動調理 珍食を食べる。
最近ハマっていること	ローカル文化の探索
好きな情報・コンテンツ	人生リセットサービスの最新情報。
頻りにしているモノ・人	ロボット、最先端技術

宝くじがあつたときの 使い道	自家用飛行機 の購入。
10年後 (2035年) の夢	結婚!
日々楽しみに していること	人との出会い。
心配ごと 困りごと	若くいられるのか...

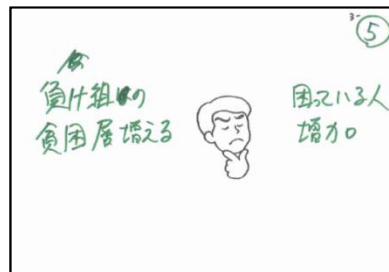
シナリオ3 High Risk High Return ライフ

(成長型経済×リスクを恐れない) 甲斐 隆さん(66歳)

甲斐さんは定年後、奥さんと別居しながら投資生活を送っています。ある日、投資に成功して10億以上の稼ぎが得られるのですが、なぜか達成感が得られない、心が満たされない気持ちになります。勝負人生に疲れ、これで良いのだろうかと考え始めますが、やがて、「たまには人に何かをしてあげたい」という気持ちに切り替わります。

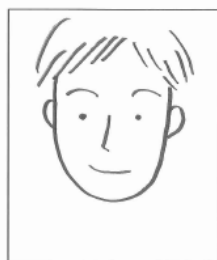
ハイリスク・ハイリターンな生活のなか、社会には負け組、貧困層が増えています。それを見た甲斐さんは、「循環基金制度」を発足させ、儲けたお金を困っている人に渡そうと、再び投資生活に戻っていきます。

制度について補足すると、単純に寄付するというのは難しいと思うので、たとえば、投資生活をする人がある程度儲かったときはキックバックして、損をした人がそれを受け取れるという制度です。そんな仕組みがあると、ハイリスク・ハイリターンな社会も破綻せず、うまくいくのではないかと思いました。



甲斐 隆 (66歳、男性)

『オレにかまうな!』



近影

職業・趣味・特技・住居

- ・ハイリスク
- ・ハイ・トライアスロン
- ・投資(実益のねえ)
- ・住みは要云々という。

平日の過ごし方 (朝・昼・晩)

- ・自宅で投資
- ・妻とは夜更けに別居

休日の過ごし方

- ・バイクで遠出
- ・時々 妻と会う……

食生活	好きなものをたくさん食べる。
最近ハマっていること	トライアスロンに目覚める。
好きな情報・コンテンツ	・若くして稼げるための情報 ・相場情報
頼りにしているモノ・人	・できるだけ頼りたくない人なしとしたい。

宝くじがあつたときの使い道	・全身フル整形 ・各地にマイ山小屋を買い。
10年後 (2035年) の夢	・火星に住む ・その前に宇宙旅行
日々楽しみにしていること	・子供とのバーチャルトーク
心配ごと・困りごと	・最近、血圧が上がってきた。

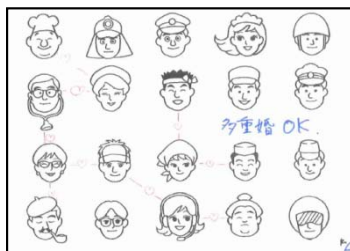
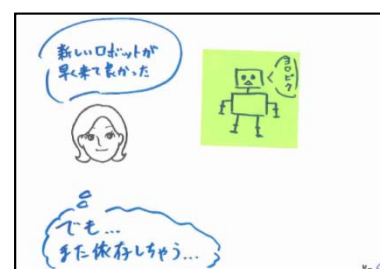
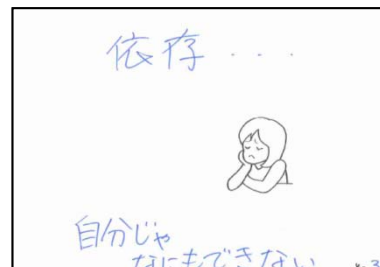
シナリオ4 Care & Gain ライフ

(成長型経済×リスクを排除する) 畠山千尋さん(35歳)

ロボットと二人暮らしの千尋さんは、生活に必要なこと、その日に
 何をしようかというシミュレーションを全部ロボットに任せて
 います。彼氏にどうい人がいいかというの、ロボットによるシミュ
 レーションで決定しています。

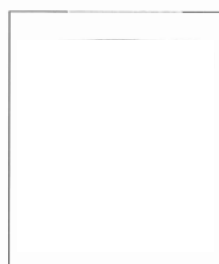
あるとき、ロボットが壊れてしまいました。千尋さんはロボットに完
 全に依存して暮らしていましたので、自分では何もできない。結
 局、「じゃあ新しいものを」と、早々に新しいロボットを買ってきてし
 まいました。

こうなるとまた依存が続いてしまうのですが、ただ、そのとき考えた
 のは、ロボットがいるから一人でも大丈夫、だけど一人だと子ども
 もできないし、やっぱり結婚はしたいということ。



ちょうどそのとき、何人とも結婚できる
 多重婚が認められるようになりました。
 結婚のリスクが気になっていた千尋さん
 にとって、選択肢が増えることになり、リ
 スクを分散できることとなりました。

畠山 千尋 (35歳、女性) 『 男なんて... 』



近影

職業・趣味・特技・住居

旅行代理店(結婚)
 未婚
 東京在住

平日の過ごし方 (朝・昼・晩)
 ロボットコーディネート
 (日により異なる)

休日の過ごし方
 婚活
 シミュレーション

食生活	東京のものはX 秋田◎ 地元産にこだわ
最近ハマって いること	Fulu.
好きな情報・ コンテンツ	男マッチングサービス(シミュレーション)
頼りにしている モノ・人	ロボット お金

宝くじがあたっ たときの 使い道	分散投資
10年後 (2035年) の夢	やっぱり寂しい 結婚したい。
日々楽しみに していること	エステサービス・人相 up. 海家族旅行
心配ごと 困りごと	結婚のリスクが気になる 兄。

シナリオ4 Care & Gain ライフ

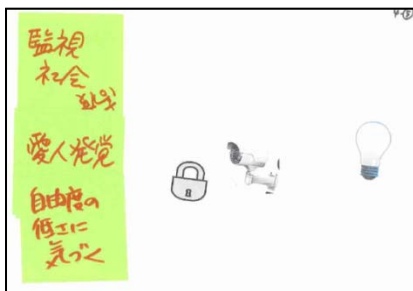
(成長型経済×リスクを排除する) 甲斐 隆さん(66歳)

甲斐さんは、安全度の高いシニアハウスに住み、絶対事故を起こさないバイクに乗り、孫にはお小遣いをいっぱいあげて慕われています。お金さえ払っておけば孫子の代まで幸せはずっと続くと信じて生活をしていました。

ところが、安心だと思っていたバイクがリコールになり、慕われていたはずの孫から「おじいちゃん嫌い」と言われてしまう。い

ろいろと掛けているなかで保険詐欺にあってしまうし、健康診断を受けたら異常が見つかり、お酒を止めるように言われます。信じていたものに裏切られることが続くなか、自分自身さえも信じられなくなり、鬱状態に陥ってしまいます。

結局甲斐さんは、心のよりどころを求めて、お金を使って愛人を囲うようになります。



ところが、安心を支えていた監視システムにより愛人の存在が周囲に発覚し、また幸せが崩れ始めてしまいます。どん底に落ちかけたときに、孫が登山中の火山が噴火します。ですが、監視システムによって噴火は予知され、孫は助けられます。それ以来甲斐さんは、監視システムは本当に必要なのか、自分を幸せにしてくれるのかどうか、ずっと悩み続けています。

甲斐 隆 (66歳、男性)

『竹竹な安心、手帳集』



近影

職業・趣味・特技・住居

安全が確保されている
コミュニティに移住
アークスのエンタープライズ
(4人組で確保)

平日の過ごし方 (朝・昼・晩)

年間の半分は仕事
(海外も含めて)

休日の過ごし方

バイクと音楽
集

食生活	安全で健康的な食材を選んで食べる。 外食と自宅料理。 運送子花を科学的にたつ
最近ハマっていること	予防・健康作りの活動 (e.g. 健康本舗(赤坂王座)) 完全に安全なバイクのレースに出る
好きな情報・コンテンツ	家族の幸せ情報。
頼りにしているモノ・人	投資専門家

宝くじがあつたときの使い道	貯蓄、孫への遺産。
10年後 (2035年) の夢	孫にいた多くの遺産を残すか ・マイペースにゆったり過ごす ・事故の予知
日々楽しみにしていること	預金と確認して、二十中 孫からのメール
心配ごと・困りごと	この時代のリスクが親に与える力 ・ICT社会についていない。